

塾長からのメッセージ

ありがとうで

幸せになろう!

勤労感謝の日

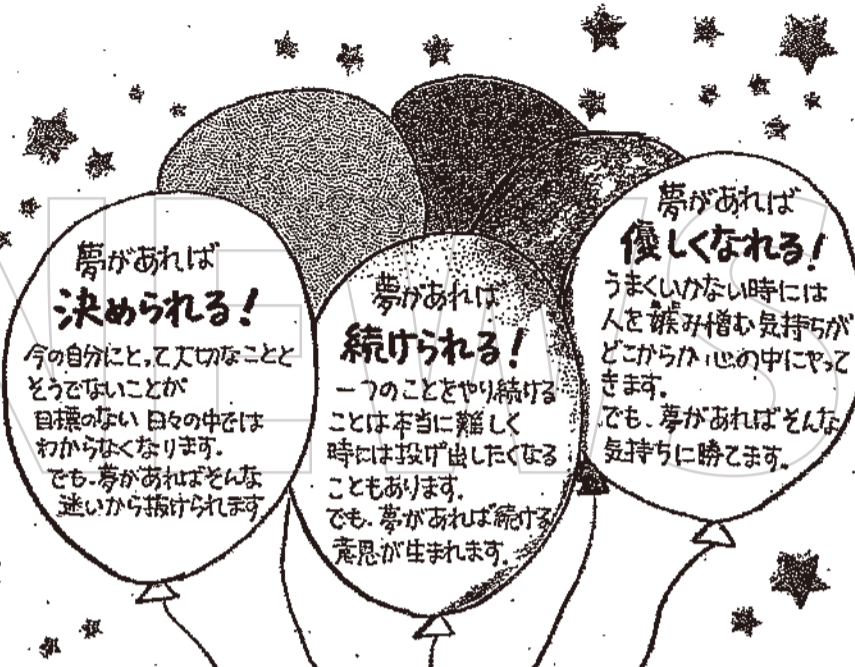
11月23日は勤労感謝の日です。

私たちが日常生活で当たり前のように思っていることは、実は多くの人の努力と勤労と苦勞によって初めて私たちに提供されています。

一杯のご飯のお米を作るためにどれだけの多くの人の時間と手間がかかっているかなんて君は考えたこともないでしょう。

そして誰よりも君が心から感謝すべき人、それはもちろん君を育ててくれる君のご両親です。君のご両親がたまたま君の幸せを願って日々懸命に生きていることを君は決して忘れてはいけません。

「ありがとう」と君は素直に言えていますか? もし、素直に言えないのなら、今日から恥ずかしがらずに「ありがとう」と言ってください。「ありがとう」と素直に言う君は必ず幸せになります。君の「ありがとう」は君自身を幸せにし、そして君のまわりの多くの人も幸せにしてくれるのです。



夢があれば
決められる!

今の自分に、大切なこととどうでないことが目標のない日々の中はわからなくなりますが、でも、夢があればそんな迷いから抜けられます。

夢があれば
続けられる!

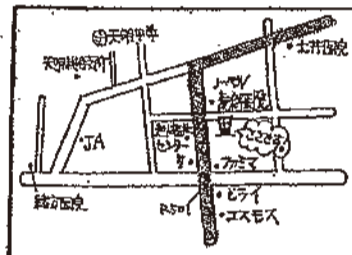
一つのことをやり続けることは本当に難しく時には投げ出したくなることもあります。でも、夢があれば続ける意思が生まれます。

夢があれば
優になれる!

うまくいかない時には人を羨み憎む気持ちがどこからか心の中にやってくる。でも、夢があればそんな気持ちに勝てます。

その夢のために 今から始める!

当塾は、いつでも君の夢の実現のための最強サポーターです。



熊本市南区銭塘町2136-8

日進塾

096(223)3151

HP <http://www.nisshinjuku.com/>

日進塾 日進塾

知ること、考えることが君の生きる力を作る!

ベストセラー
『学問のすすめ』とは...



福澤諭吉(1835~1901)の代表作です。1872年(明治5年)初編出版~1876年(明治9年)十七編出版をもって一応の完成となりました。

日本人を封建支配下の無知蒙昧な民衆から、民主主義国家の主権者となるべき、自覚ある市民に意識改革することを意図して書かれました。

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずといへり」という冒頭の一文はあまりにも有名です。

それまでの日本人は人には生まれながらに上下の秩序があるとする儒教思想に由来する考えを持っていました。「学問のすすめ」はその常識を真向から否定して人間の平等を説いたのです。

でもその先の文に福澤諭吉の言いたかったこと伝えたかったことが書かれています。

現代語にしてわかりやすくすると、以下の内容になります。

「けれども今広くこの人間世界を見渡すと、賢い人愚かな人貧乏な人金持ちの人身分の高い人低い人とある。その違いは何だろう? それは甚だ明らかだ。賢人と愚人とを別は学びと学ばざるに由ってできるものなのだ。人は生まれながらにして貴賤上下の別はないけれどただ学問を勤めて物事をよく知るものは貴人となり富人となり、無学なる者は貧人となり下人となるのだ。」 ←少し決めつけすぎでは?と思いきや!それこそ

学問は君の人生にとってとても大切なことです。

学問のすすめ

もし人が知ることをやめたら...

知識は「生きる力」の源です。

新しい何かを創り出す力、創造力は知識の全くない空っぽの頭では育っていきません。

知識は学ぶことによりいくらでも増やすことができます。

もし人が知ることをやめたら明るい未来はやってきません。

知ることは君の心を大きく育てます。



もし人が考えることをやめたら...

生きることは考えることです。考えるからこそ人間です。

考えることをやめることは人間であることをやめることです。そして何より考えることはとても楽しいことです。

もし人が考えることをやめたら生きるよるこびまでなくなります。



知識を得るために、その得た知識によって考えるために学ぶことが必要です。知ること、考えることが君の生きる力を作ります。